

## 地域版未来会議（別所温泉）【まとめ】

日 時 令和3年1月8日（金）11：00～13：00  
 配信会場 「南條旅館」 Bessho Branch（Zoomによるオンライン配信）  
 参加人数 15名（このほかスタッフ2名も参加）

### 【講演（約60分）・オンラインワークショップ（約60分）】

ゲスト：井戸聞多 氏、三枝大祐 氏、鈴木隼人 氏

テーマ：温泉街の「仲」、集まりの「央」、人の「仲」～新しい「なか」を考える～

### ＜ゲスト（3名）による講演：自己紹介や実践事例紹介など＞

○井戸聞多さん（志賀高原「hiroen」管理人）

2019年4月に志賀高原へ移住、関東圏の大学生を受け入れての課題解決活動や、地域の課題に対するコンサルティングなどに取り組む。「hiroen」は課題を話し合う場であり、「生き方を自由に選択する」ため“魂”を入れる取組を実践。

○三枝大祐さん（塩尻市「スナバ」管理人）

2017年4月に移住して塩尻市役所に勤務、市が推進するシビックイノベーション拠点「スナバ」の管理人として、企業や学生など幅広く連携した「まちづくり」を実践。

○鈴木隼人さん（別所温泉「南條旅館」支配人）

鹿教湯の「斎藤ホテル」に入社後、2017年4月から「南條旅館」の支配人として、現在は「Bessho Branch」の利用を通じて別所温泉を知ってもらい、来訪者の増加につながることを目的に、さまざまな活動を展開。別所温泉旅館組合の情報発信担当も兼ねる。



### ＜相互の意見交換（話題提起に対する講師・参加者コメントなど）＞

○「別所温泉を面白く」するため、どのような取組が必要か？

→温泉街のレトロな雰囲気など興味を持ったことについて、例えば街並みを写真に撮って分類することで興味を引いた理由を考えるなど、「学生がやりたいこと」と「地域側が望むこと」の共有を図りながら、お互い自発的に関わり合える環境も必要である。

○現在、活動している事業のブラッシュアップの考え方について

→大学でのサークル活動など、次の学生に「つなぐ」事で、事業自体も改善されていく。

### 総括（ゲストによる全体まとめ）

- ・地域の発展のため、「思いを一緒に、同じ景色を見たい」との考えを持って、同じ目線で学生など若者と一緒に成長していくことが重要だと思う。
- ・自分たちが「楽しい」と思える事を共感する人が増えるよう、活動が繰り返されるためのコーディネートが大切で、活動的な学生・若者の取組の深掘りを実践してほしい。